

第52回宮城県緩和ケア研修会 プログラム

研修会企画責任者:今野文博
会場:大崎市民病院 3階会議室 他

1日目 平成27年7月18日(土)

敬称略・順不同

区分	分野	内容	備考	プレテスト及び解説	最低必要単位	宮城県設定単位	担当講師・ファシリテーター	時間帯
		オリエンテーション					今野文博	8:50-9:00
A	疼痛緩和(1)	がん性疼痛の機序・評価およびWHO方式がん性疼痛治療法の概略		○	0.5単位(45分)	1単位(90分)	高橋通規(仙台医療センター)	9:00-10:30
		がん性疼痛の治療法の実際	医療用麻薬の副作用対策・神経ブロックも含む	○	0.5単位(45分)	0.5単位(45分)	日下潔(祐ホームクリニック石巻)	10:40-11:05
		放射線治療・神経ブロックの適応	放射線治療・IVR				坂谷内徹(大崎市民病院)	11:05-11:25
	地域連携・在宅緩和ケア	がん患者の療養場所の選択、地域連携及び在宅緩和ケアについて			-	0.5単位(45分)	佐藤隆裕(岡部医院)	11:25-12:10
		昼食・休憩						12:10-13:10
B	疼痛緩和(2)	がん性疼痛に関するワークショップ	ア)グループ演習による症例検討1(がん性疼痛を持つ患者の評価および治療) イ)グループ演習による症例検討2(がん性疼痛に対する治療と処方箋の実際の記載) ウ)ロールプレイングによる医療用麻薬を処方する時の患者への説明の実際	アイスブレーキングあり	2単位(180分)	2単位(180分)	高橋通規・田島つかさ(塩竈市立病院)・日下潔・佐藤隆裕・児山香(東北薬科大学病院)・坂本康寛(大崎市民病院)・二瓶恭子・豊田由里絵・田中恵梨(大崎市民病院)	13:10-16:10
		1日目のまとめ・連絡				1日目計4単位	今野文博	16:10-16:20

2日目 平成27年7月19日(日)

区分	分野	内容	備考	プレテスト及び解説	最低必要単位	宮城県設定単位	ファシリテーター	時間帯
C	身体症状に対する緩和ケア	消化器症状、呼吸困難等の身体症状に対する緩和ケアについて	消化器症状	○	0.5単位(45分)	0.5単位(45分)	高橋雄大(大崎市民病院)	9:00-9:45
			呼吸器症状・倦怠感		0.5単位(45分)	0.5単位(45分)	進藤百合子(仙台オープン病院)	9:45-10:30
	精神症状に対する緩和ケア	不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケアについて	全人的なケアも含む	○	0.5単位(45分)	1単位(90分)	三浦伸義(八千代病院)	10:40-12:10
		昼食・休憩・情報交換						12:10-13:10
D	コミュニケーション技術	がん医療におけるコミュニケーション技術についての講義		○				13:10-16:10
		ワークショップ	ア)グループ検討による患者への悪い知らせの伝え方 イ)ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての実際	アイスブレーキングあり	2単位(180分)	2単位(180分)	三浦伸義・進藤百合子・川井由美子(東北大学病院)・伊藤文晃(東北大学病院)・千葉久美子(坪井病院)・坂本康寛・二瓶恭子・森屋智美・渡邊裕美・菅原彩(大崎市民病院)	
		2日目のまとめ・連絡				2日目計4単位	今野文博	16:10-16:20